

## 令和3年度市長会議 意見交換の概要

1 日 時 令和3年5月12日（水）午後3時15分～午後4時5分

2 開催方法 オンライン会議

3 出席者

横浜市副市長	小林 一美	知 事	黒岩 祐治
川崎市副市長	伊藤 弘	副 知 事	武井 政二
相模原市長	本村 賢太郎	副 知 事	小坂橋 聡士
横須賀市副市長	田中 茂	副 知 事	首藤 健治
平塚市長	落合 克宏	教 育 長	桐谷 次郎
鎌倉市長	松尾 崇	警 察 本 部 長	山本 仁
藤沢市長	鈴木 恒夫	理事（いのち・SDGs担当）	山口 健太郎
小田原市長	守屋 輝彦	理事（未来戦略担当）	脇 雅昭
茅ヶ崎市長	佐藤 光	理事（特定課題担当）	前田 光哉
逗子市長	桐ヶ谷 覚	政 策 局 長	高澤 幸夫
三浦市長	吉田 英男	総 務 局 長	筒浦 浩久
秦野市長	高橋 昌和	くらし安全防災局長	花田 忠雄
厚木市長	小林 常良	国際文化観光局長	香川 智佳子
大和市長	大木 哲	ス ポ ー ツ 局 長	平田 良徳
伊勢原市長	高山 松太郎	環 境 農 政 局 長	鈴木 真由美
海老名市長	内野 優	福祉子どもみらい局長	橋本 和也
座間市長	佐藤 弥斗	健 康 医 療 局 長	山田 健司
南足柄市長	加藤 修平	産 業 労 働 局 長	野田 久義
綾瀬市長	古塩 政由	県 土 整 備 局 長	大島 伸生
神奈川県市長会事務局長	山口 正志	教 育 局 長	田代 文彦

4 議 題

- ・ 新型コロナウイルス感染症について

5 警察本部からの情報提供

6 意見交換

## 令和3年度市長会議（5月12日）意見交換の概要

令和3年5月12日

15:15～16:05

オンライン会議

### 【座間市長】

今、お話いただいたワクチン接種について、本市では、医師会にも全面的に協力をいただいております。集団接種、そして個別接種もしっかりと行っていくということで取り組んでおりますが、今までワクチンの供給自体が遅れておりました。

当初の予定どおり、ワクチンが供給されていれば、7月末までというのは可能性があると思うのですが、ワクチンの供給自体が遅れており、全力で取り組んでもなかなか厳しい状況があります。

もし、医療スタッフや接種の担当をする運営スタッフ等を準備していただければ、会場と予約のシステム自体はお貸しすることができます。そういったチームで来ていただくということが可能であるならば、そのような支援をしていただけたらと思います。

### 【知事】

先ほど申し上げましたとおり、市町村の担当者をすべて決めておりますから、この場だけではなく、その担当を通して具体的にどんなチームで、何人必要で、どんな人が欲しいのかという話を是非していただけたらと思います。

### 【海老名市長】

先ほど、知事が言われたキャンセル待ちの制度に関して、ガイドラインを作るといった話がありましたが、集団接種と個別接種の場合で違いがあると思います。

先日、医師会とも話しましたが、個人医院で、キャンセルが発生した時どうするのかということがあり、キャンセルが出た場合、医師会長等がその場にいた患者に打っていいものなのかという問題もありました。

また集団接種の場合は、海老名市等では民生委員、自治会の役員等にもお話し、キャンセル待ちの制度、対象者を作っています。

そこで県が違う制度を作ってしまうと、県はこう言っているのになぜ市町村はこうなのかという食い違いが発生する可能性があるため、各市町村の判断を尊重していただきたいと思っております。河野大臣も、接種は自治体の長の判断でできると言っているのです、混乱のないようにお願いします。

### 【藤沢市長】

7月末までに接種するということが大命題であり、実現できるよう我々も努力しながら課題を抽出していますけれども、現実的になかなか難しい面もあり、プラスアルファが無いとできないということで、県からのサポートの話がありました。

国では、東京駅近くに大規模接種の会場を作り、1日に1万人程度に接種できるように、接種体制を整備するということですが、藤沢市から東京駅まで高齢者が行くということも難しく、現実的ではないと思っております。

県においても、大規模接種をするような話も検討されているのではないかと思います。県内であれば、接種しに行ける人も多くなるのではないかなと思っておりますが、医療従事者等を市町村から剥していくとなると、計算が狂うのですけれども、そのプラスアルファということについては、知事の方でどのように考えているのでしょうか。

### 【知事】

県独自で大規模接種施設を作ることは今のところ考えていません。選択肢として否定したわけではありませんが、考えていません。

基本的に市町村の皆様に取り組んでいただくということですので、これをサポートするという形で全面的に対応していきたいと考えています。

まさに鈴木市長がおっしゃったように、県が大規模施設を作って接種を行おうとすると、市町村の方でワクチン接種を行おうとしている医療従事者を引き剥がすことになりかねません。これは非常にマイナスになりますので、基本的に市町村の皆様を支援していくことをキープしていきます。

ただ、これからの展開によって大規模施設で接種するということを選択肢として残しておきますが、基本的にはそのような考え方です。

それから、海老名市長のご意見に関して、キャンセル待ちの仕組みを市町村の中で実施していただくことをまずは尊重します。そのような中で、うまくいくような形で、県がサポートすることを基本としたいということを改めてお約束します。

### 【小田原市長】

ワクチン供給のスケジュールが示されて、早い対応をとということに関して、ワクチンの供給量をなるべく早くお示ししていただきたいということを再三申し上げましたが、なかなかそのスケジュールが明らかになってこなかったもので、私としては市民に今の体制だと6月中旬頃という話をしておりました。

ところがここに来て、6月までの供給スケジュールが示されましたので、現在、どこまで前倒しで供給できるか大急ぎで調整しているところです。

そこを踏まえて、本市の状況をお伝えしながら、お願い事項があります。

先ほどの報告で、接種が遅れていた医療従事者も54%まできたとのことですが、本市においては、医療従事者の対象者が約6,000人おり、現時点で4,000人までワクチン接種が完了し、何とか今月中に6,000人まで完了するように目途をつけたいと思っております。

それから、本市が次に優先順位を掲げているのは、高齢者施設の入所者及びその従事者です。対象者の5,000人中、2,000人は現時点でワクチンの供給が終わっており、5月中には100%まではいかなくとも、相当程度のところまで終えたいと考えています。

その上で、施設に入所されていない方については、個別接種を受けていただいた方が色々な混乱が少ないだろうということで、市内には133の医師会所属の医療機関がありますが、このうち7割の90施設程度が個別接種にご協力をいただいております、今まさにその調整をしている状況です。

少なくとも市立病院については、早めのスタートをしたいと思っておりますが、医師会等の調整が整い次第、予約・接種に繋げていきたいと思っております。ただ、ここには今日来たので明日からとなかなかいかないところです。情報伝達についても、自治会やインターネット等を使い、伝える手段を考えています。そのために、準備に時間を要しています。遅くとも6月上旬のスタートをされるようにと思っております。

医師会に確認したところ、7月までの接種の状況を鑑みて、どの程度1週間に接種できるのか積み上げをしていただいております。その前までは約1万人という見込みでしたが、日曜日や休診日も接種をしていただけるという状況を踏まえて、週に1万1,000人～1万2,000人まで積み上がってきていますので、なんとかここを上手く円滑に進めていけば、7月中の完了が視野に入ってくると思います。

それを含めて二点ほどお願いをさせていただきます。

一点目は、配送スケジュールについて、厚労省のシステムにより2週間単位のクールで示されていますが、2週間というのは幅が広いので、具体の配送スケジュールを早めにお示しいただきたいです。

二点目は、現場からの話になりますが、ワクチンの使用期限について、送付されてくるものによって、「6月末」や「7月末」と書いてあるので、供給されるワクチンの接種の使用期限がいつまでなのかをあわせてお示しいただけると、結果的に円滑な接種に繋がると思います。

**【南足柄市長】**

確認ですが、先ほどの健康医療局長の説明の中で、現在の県の接種率が54.2%とありましたが、そういったことでよろしいですか。

**【健康医療局長】**

5月11日までに供給されたワクチンの数に対して、消費された率が54.2%ということになります。

**【南足柄市長】**

分かりました。そういった中で、本市の状況は、いわゆる第5クールの配給があったものをすべて接種しても、まだ28%程度の実績にしかない状況です。また、今後、配給が予定されているであろうワクチンの接種がすべて完了したとしても、53～55%程度だと思っています。その辺りを十分にご配慮いただければと思います。

本市では、市内のほぼすべての医療機関の積極的なご協力のもと、個別接種を主体として、集団接種を含め、体制を整えております。

先日、最初にいただいたワクチンは、高齢者施設等への配給を済ませた後の残り、集団接種の予約を受け付けましたが、わずか2～3分で予約が埋まってしまい、市民からは数多くの不満や怒りのご意見をいただいております。

こうしたことを解消する上でも、十分なワクチンの供給・配給を速やかに進めていただきたいと思います。こうしたことが我々、そして市民の願いであるので、よろしく願います。

先ほど、知事がおっしゃられたように、7月末までの65歳以上の高齢者の接種完了を目指すことは、私どもとしても7月末ではなく、できるだけ早く完了したいと思っているので、ご支援をいただきたいです。

また、本市は6月1日から、市内医療機関の先生方のご協力のもとに、個別接種を始めます。そのことによって集団接種への予約の不満等も解消していくものであらうと思っております。その背景には十分なワクチンの配給、供給が絶対の必要十分条件であります。

加えて、知事が決めていただいた、市町村別の担当職員の配置があります。色々な県内の共通した課題を共有しながら、一つ一つの問題解決につながると思っており、期待をしておりますので、よろしく願います。

**【知事】**

小田原市長の2点のご要望、よくわかりました。

2週間単位で送られてくるワクチンがいつ頃配送できるのか、なるべく早く

情報が欲しいといったことは、しっかり現場に徹底させたいと思います。

また、ワクチンの使用期限については、これもはっきりわかった段階で明示するようにといったことも現場に徹底させたいと思います。

また、南足柄市長の量を確保してほしいというお話についても、当然の事かと思えます。ただ、今の状況を見ますと、これまでは少なかったけれど、これからはまとまった量が一遍に来てしまうという流れになる見込みです。

本来ならば、ほぼ均等に順次送られてくるというのが一番良いのですが、最初少なく、その後まとまった量が一齐に来るという形になってしまいそうです。これから、量は十分確保できると思いますので、接種体制を県と一体となってしっかり整備を進めていただきたいと思います。

接種予約に関して、色々なご不満が多くのごところに出ていたといったことは、しっかり受け止め、県としても市町村の皆様が取り組んでおられることと、どうやってうまく整合性を取りながら、そういったご不満が起きないようにするかといったことについて、様々に知恵を絞ってご提示していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

#### 【川崎市副市長】

先ほど知事からもありましたとおり、本市でも7月末までの高齢者の接種完了に向けて取り組んでいるところですが、課題も大変多くあります。

そうした中で、県におかれましては、医療従事者向けの接種に係る調整等でご尽力いただき、おかげさまで、病院あるいは診療所等に勤務する医療従事者の接種につきましては、ほぼ第1回目が接種できたところではあります。

一方で、歯科医院や薬局等に勤務する医療従事者への接種につきましては、5月下旬になってしまう状況であり、接種開始自体が5月下旬になると仄聞しているわけでありまして、高齢者接種の加速が求められている状況におきまして、地域の医療機関からは、この医療従事者と高齢者への接種を同時平行で進めていかなければならないことへの心配の声が挙がっている状況であります。

こうしたことを踏まえまして、まず医療機関へのワクチン接種につきましては、速やかに完了できますよう、病院と診療所の役割を整理する、あるいは、県と市の役割を整理することによって住み分けをし、調整ができるよう、是非調整を行っていただきたいと思いますと考えております。

#### 【厚木市長】

今、直面している問題とこれからの財政支援をどう確保していくかという、この二点に絞って発言させていただきたいと思っております。

全国どこでも同じような状況で予約が殺到しているということをよく耳にし

ており、「できるだけ早く打ってあげたい」、また、「早く打ってほしい」という気持ちを皆さん持っていらっしやると思います。現実にはそこまでなかなか対応しきれないという状況の中、不安に思っている方々に対し、「心配ないですよ」というメッセージがもう少し必要ではないかと思います。特に、高齢者を中心として、皆さんへの説得力というか納得していただくための発信力が必要であると思います。

国は「ワクチンの確保は心配しないでください」と言っていますが、なかなか浸透しないため、大勢の方々が一齐に予約に殺到してしまう状況かと思えます。一人ひとりが早く対応しなければいけない事実がありますが、落ち着いて対応してもらうという環境や空気感を作り、各地で出ている色々な混乱や支障をきたしているものの解決へ向けて、「安心してほしい」というメッセージが必要ではないかというのが一点です。

もう一点、わたしどもは現実の課題として直面しておりますが、このワクチン接種事業に対する財政的な支援であります。

厚生労働省から補助要件のメニューが示されておりますが、実態はそのメニューどおりにはいきません。それ以上、費用も人件費もかかることは当然だと思っております。その部分がどのくらい違うのかということ、県として把握し、国に対して伝えていくことを今の段階からしていかないと、後になって足りなかった分の補助がないといった新たな課題が出てきます。

この二点について、是非、お願いをしたいと思います。

混乱を避けるための安心感は、やはり県民の皆様にご丁寧に伝えていただくことだと思います。そして、実際にかかる経費については、対応すると聞いておりますが、本当かどうかはまだ十二分に納得しきれないところが多くあります。「補助要件を見直す」や、「該当するところは面倒みます」というようなメッセージをもらうことによって、市町村としても安心した対応ができると思っております。

#### 【知事】

まず、川崎市からありました医療関係者への接種は、県として、急いで取り組んでいるところであります。それぞれの病院にご負担をおかけしないよう、県独自の方式をとりましたが、実際に配送システムが稼働するまではちょっと時間がかかってしまいました。今は稼働しており、私も毎日データを確認しておりますが、順調に進んでいるところであります。まずは高齢者への接種に関わる医療従事者への接種を最優先で取り組んでいます。この方々については、5月中には終わるという目途は立っています。これはしっかりとスピードアップして取り組んでいきたいと考えています。

厚木市からのお話はもったもたなことです。予約に対して皆様が殺到し、混乱してしまうということについて、我々は重大な問題意識を持っております。だから、「焦らないでください。」「必ず接種できますよ。」というメッセージを具体的な形で落とし込んで、皆さんにお伝えすることも考えております。

「いつになったら、自分は接種できるのか。」といった情報が行き渡れば、焦らなくても済むといったことなので、その辺りを県としてしっかり責任をもって情報発信をしていきたいと考えています。

また、財政的支援については、河野大臣からも心配しないでくれとの話がありました。そうは言っても、実態面において細かいところを見ていくと、そうならないじゃないかというところが多分あると思いますから、そういったものは具体的にどの部分がどうなのかという問題点を洗い出し、国に求めるところは、しっかりと求めていきたいと思っております。

#### 【市町村課長】

ありがとうございます。発言希望をいただいた市長の皆様からはコメントをいただきましたが、そのほかご発言の希望はありますでしょうか。

ないようですので、ここで知事から総括的なまとめをいただければと思います。よろしくお祈りします。

#### 【知事】

本日は短い時間であり、様々な課題について十分にお話ができなかった部分があるかもしれませんが、先ほど申し上げましたように、15名の市町村担当者を用意しましたので、日常的に意見交換をしていきたいと思っております。

そして県内一丸となって、7月末までに高齢者への接種を終えるという大目標を掲げて一緒になって突き進んでいきたいと思っておりますので、どうぞご協力の程よろしくお祈りします。本日は誠にありがとうございました。

(以上)